

文京区障害者地域自立支援協議会

令和5年度 第1回障害当事者部会 要点記録

【日時】 令和5年9月19日（火） 10時～12時

【場所】 文京シビックセンター3階 障害者会館

【出席者】 志村 健一 （自立支援協議会 副会長）

竹間 誠次 （知的障害）

永野 栄一郎 （知的障害）

柳澤 由美子 （精神障害）

【事務局】 關、荒木田、河井、池田、林 （文京区障害者基幹相談支援センター）

【欠席者】 高山 直樹 （自立支援協議会 会長）

河野 孝志 （身体障害） 資料第4号のみ事前聴取

中山 雅美 （精神障害） 資料第4号のみ事前聴取

橋本 淳一 （区委員）

【補助人】 松下 功一 （竹間委員補助人）

鈴木 寛樹 (永野委員補助人)

【開会前に事務局からの連絡】

- ・ 出欠確認
- ・ 傍聴及び会議内容の公開について確認
- ・ 記録のため、会議内容の録音と写真撮影についての確認
- ・ 資料の確認

1. 開会挨拶

高山会長欠席のため割愛

2. 事務局紹介及び今年度の当事者部会委員体制について

- ・ 事務局より説明
- ・ 各委員の自己紹介

3. 議題

(1) 今年度の当事者部会の検討事項について (資料第1号)

事務局より説明

今年度の自立支援協議会について、前年度までの自立支援協議会からの変更内容説明。親会が年間

通して全2回となり、2回目は各部会での検討事項や実施したことの発表会となった。また、今年か

ら新たに「子ども支援専門部会」が設立された。スケジュールについて、当事者部会は第1回が当初

7月に予定されていたものが延期され9月開催となった。それに伴い第2回は12月～1月、第3回は年度終わりを予定している。親会2回目は年度末に開催を予定している。

今年度の検討事項説明。親会から依頼されている内容は、「他の専門部会や関係団体等と協働して開催し、障害当事者の視点から障害福祉にかかる諸課題について検討する」。つまり、他の部会や障害福祉団体と協働して色々考えて当事者としての立場から意見が欲しいということ。

【質疑応答】

- ・子ども支援専門部会について教えてほしい

今年から始まった部会。元々地域で子どもの支援をしている方々が集まり「障害児支援ネットワーク」という場で色々なことを話し合っていた。もっと地域に課題を訴えていきたいと親会に相談、子ども支援専門部会が設立された。

(2) 部会長の互選 (資料第2号)

事務局より説明

新年度で部会長を決め直す必要があり、部会長の役割を説明。

普段の役割としては、いち部会員として当事者部会に参加して色々なことを話し合ったり、他の団体と交流したりすること。部会長としての役割は、報告会のようなものがあったり、他の団体に当事者部会のことを説明したりする際に代表して話すこと。発表の機会は不定期。今年度は第2回親会の各部会の発表会で代表として話すのが大きな役割となる。来年度はどうなるかわからない。発表の内容は、普段の支援者や事務局が一緒に考える。

立候補により永野委員が部会長に決定。

(3) 相談支援専門部会・地域生活支援部会の報告、令和4年度当事者部会の振り返り（資料第3号）

事務局より説明

令和4年度の自立支援協議会のテーマは「障害者の支援の切れ目について」「障害者の住まいが見つかりにくいことについて」の2つ。令和4年度第3回当事者部会では、相談支援専門部会・地域生活支援専門部会から、このテーマについて当事者の意見を聞きたいということでいくつか質問があり、皆さんに答えていただいた。それを受けて第3回相談支援専門部会・地域生活支援専門部会で話し合ったため、報告する。

ここで振り返り。皆さんに答えていただいた質問一つ目は「支援者から支援者へと引き継がれるあなたが一目で分かる経歴書のようなツールがあったら使ってみたいと思いますか」で、答えとしては、分かりやすいものや連携が取りやすいもの、コンパクトなもの、という意見の他に、何をどこに相談して良いか一緒に考えて相談先に同行してくれる人がいたら良いといった意見も挙がった。質問二つ目は「もしも一人暮らしをするならどんな支援があると心強いですか。またはどんな支援があれば住まい探しをしたいと思いますか」で、答えとしては、不動産屋さんや大家さんとのやりとりを手伝ってほしい、自分を理解して背中を押し止めたりしてほしい、一人暮らしは寂しいから支援者のもとにいたい、お金の不安や家事を一人でする不安がある、との意見が挙がった。

次に、第3回相談支援専門部会・地域生活支援専門部会で話し合われたことの報告。質問一つ目の回答を受けて話し合ったこと。情報共有が大事で、それをどうしていくかということが挙がった。

情報の種類は様々であるが、ご本人がどういった思いを持って支援を受けてきたか、支援者がどういった思いを持って支援してきたかということも大事なことはないか、という意見が挙がった。そこで、思いや意思を中心に置いて、当事者含む支援者で周囲を囲む図を作り、情報共有のイメージ図とした。また、利用する制度の切り替わりのタイミングについても話し合われた。例えば障害福祉サービスから介護保険サービスの切り替わり。本人のみならず、支援者も変化の違いを上手く理解出来ないことで、スムーズな引継ぎの妨げになっているのではないかとという意見が挙がった。そこで、当初想定していた引継ぎ書やツールといった紙媒体の物よりも、顔の見える関係を作った中で引き継いでいかないと、情報に挙がらない思いや意思は伝えられないのではないかと意見が出た。それが具体的にどういった方法になるのかは、令和5年度に持ち越し議題となった。二つ目の質問については、暮らしをサポートする仕組みがあったら良いのではないかとという意見が出ていたが、時間の関係上詳しい話は出来ていない。

今年度検討が進んでいくと、改めて皆さんにご意見伺うことがあると思う。その際はご協力願いたい。

【質疑応答・意見】

- ・休日どこに電話して相談したら良いのか分からず不安に思ったことがあった。訪問看護もあったが、利用時間が限られている。高齢者あんしん相談センターに、当時介護中だった母のことも含めて、自身の不安についても相談しようと電話したところ、そちらの相談員から訪問看護師さんへ、少し長めに時間を取って聞いてくれるよう依頼してくれたということがあった。土日の相談先を作ってほしいという願いがある。

(4) 令和5年度第2回当事者部会について

●以下の質問について各委員から発表（資料第4号）

①これまで当事者部会に参加して感じたことや気づいたことがありましたら教えてください。

- ・当事者部会は色々あったなと思った。10年程当事者部会員をやっているが、権利擁護専門部会で自分自身の体験発表をしたことが印象的だった。
- ・8年くらい当事者部会員をやっている。もう少し話し合いの機会がほしい。
- ・各障害の立場の話聞いて良かった。
- ・身体障害の分野の方の参加が少ないので、別分野の身体障害の方の意見も聞いてみたい。
- ・色々な方が当事者への支援を考えていてくれることに感謝している。
- ・当事者がより良い生活をしていけるように発信していきたい。
- ・現在就職活動中であり、就労支援専門部会がどんなことをしているのか知りたいと思っている。

②今年度の発表会に向けて、当事者部会で取り組んでみたいことがありましたら教えてください。

- ・ボランティアとして募金活動等色々な事に参加してみたい。
- ・通所している地域活動支援センターの系列で誰でも立ち寄れるサロンを兼ねた相談場所があり、他区の方が視察に来て自身のことを話したことがあった。視察に見えた方が、とても良い場所で東京都全部に作ったら良いと言ってきて嬉しかった。そういった体験を報告したい。
- ・障害当事者部会の発表会をやりたいと思う。
- ・昨年の民生委員との交流会が良かったため、継続して企画してほしい。民生委員の障害担当以外

の方や、昨年参加出来なかった方とも交流してみたい。

- ・自立した生活をしたいという思いがあって、その一環として就職活動をしている。働く喜びを感じられるような職場環境や取り組みを考えたり発信したりできるような活動をしてみたい。

●他にやってみたいこと、報告したいことについて意見交換

- ・地域の居場所である「ふらっと・だんござか」に行ってみた感想や、そこでの活動に参加した報告
- ・成増厚生病院とエナジーハウスが地域移行プロジェクトの一環として実施している音楽交流会の

報告

- ・外部のイベント、他の部会等に参加し、その内容を報告する
- ・利用している社会資源（グループホームや通所先）の報告

地域と共に関わる活動へのボランティア参加や他部会の傍聴を行い、その内容を当事者としての

立場からの感想や意見と共に第2回当事者部会で報告する。他団体の活動への参加や他部会の傍聴

は事務局が検討、調整を行う。